特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター　ニューズレター「みんみん」

2022年1月31日
Vol.118

みんみん

題字　谷川俊太郎さん

NPOの存在

二十四節気では、まもなく立春を迎えます。こころなしか日差しは春めいてきて暖かさを感じます。

さて、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の感染拡大のニュースが止みません。そんな矢先、医師・医学博士の賀来満夫先生のお話を伺いました。先生は最後に「今、社会全体の共通リスクは、感染症である。それに対応していくには、さらに充実したネットワークの構築が必要であり、それは平時からのヒューマンネットワークである」と仰っていました。「人と人の連携協力が一番のワクチンである」とも。

私たちNPOの存在も人と人の連携協力があってのこと。活動がままならないもどかしさはまだ続いていますが、お互い「ここにいるよ！」とその存在を確認し合うことだけでも、何か湧いてくる気がしませんか。つながりを確認しながらもうひと踏ん張り！

◇

新年度に向けて、只今、職員を若干名募集しています。会員の皆様のお知り合いやご関心のある方へのお声がけなど、ご協力いただきますようお願い申し上げます。詳細は、当法人のウェブサイト「採用情報」に掲載していますのでご参照ください。お問い合わせは、事務局までお願いいたします。

遅ればせながら、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

『河北新報』月曜夕刊は、「志民の輪」！

▲「志民の輪」の紙面。
カラーの紙面が目を引きます。

活字離れが進み新聞も例外ではありませんが、皆様はいかがでしょうか。

当センターは2019年度より、杜の伝言版ゆるると週替わりで『河北新報』月曜日の夕刊4面「志民の輪」の執筆を担当しています。これまで取材や寄稿にご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございます。おかげさまで連載は、1月31日で128回を数えました。今後も掲載について皆様にお声がけさせていただくかもしれませんが、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

紙面内容は、地域課題に取り組む市民活動団体やNPOなどに焦点を当て、課題を明らかにし、その活動内容や意義を伝える**「とびらを開く」**、各分野の識者や活動者の執筆による**「わたしの視点から」**、イベントや相談対応など各団体の情報をコンパクトに告知する**「ふみだすinfo」**の3本立てで、宮城県内の団体の動きをお伝えしています。なお、「とびらを開く」のコーナーは、河北新報社のオンラインサイトでも閲覧できますので、ぜひご覧ください。次回の掲載は2月14日の予定です。

イベント開催報告

●2021/11/26-27「市民セクター全国会議2021」

昨年11月26、27日の2日間にわたり「市民セクター全国会議2021 変容する社会と市民活動の広がり」が、同実行委員会と日本NPOセンターの主催により開催されました。全国のNPO、企業、行政などが一堂に会し、市民社会の創造を目指して現代社会が直面している社会課題や今後あるべき取り組みを議論する場として2002年から隔年開催し、10回目を迎えました。

今回は宮城県仙台市、新潟県上越市、福岡県大牟田市の3会場からオンラインで配信。当センターは、エイブル・アート・ジャパン、杜の伝言板ゆるるとともに、宮城・仙台実行委員会のメンバーとして参加しました。

仙台会場は、フォーラス7階のイベントスペース「even（イーブン）」にて、「東北発　市民セクターのスクラップ＆ビルド！？『つながりのデザイン』」をテーマにセッションを行いました。

東日本大震災以降、復興のまちづくりに取り組む「つながりデザインセンター」副代表理事の新井信幸さん、松島湾の魅力の再発見を目指す活動をしている「つながる湾プロジェクト」代表の大沼剛宏さんが登壇し、当センターの松村翔子が聞き手を務めました。

震災を経験し、全ての人が命と暮らしのあり方に正面から向き合うことになった宮城・仙台の市民と市民セクターの「つながりのデザイン」をキーワードにトークを展開。持続可能な地域運営において、さまざまな境界線を取り払ったつながりなどについて議論がなされ、会場の参加者からも質問が多く寄せられました。当日は高校生や大学生のボランティアも参加して多世代が交流し、有意義な時間となりました。

当日の様子は、日本NPOセンターのホームページやフェイスブックにイベントレポートが公開されていますので、ご覧いただくことができます。

▲ 仙台会場の様子。写真左から、登壇者の大沼さん、新井さん、松村、進行の杜の伝言板ゆるるの小野寺真美さん。

あなたの地区は、どうしてますか？

▲ 多賀城市の旭ヶ岡町内会から「コロナ禍での情報発信」の取り組みを発表している様子。

多賀城市内には47の自治会・町内会があります。世帯数や人口構成、地理的環境や地域の成り立ちもさまざま。他の自治会・町内会はどんな取り組みをしているんだろう？知っているようで知らない他地域の取り組みがあります。

多賀城市市民活動サポートセンター（たがさぽ）では、昨年10月に「水辺の防災」「コロナ禍での情報発信」「人材発掘」の3つのテーマによる情報交換会を行いました。そこでは、8つの自治会・町内会の事例を共有しました。その様子は「たがさぽPress」にレポートがアップされていますので、ぜひご覧ください。自治会・町内会運営のヒントに出会えるかもしれません。

「たがさぽPress」を検索して、レポート「多賀城　自治会・町内会わがまち情報交換会」①～⑧をご覧ください！

発行　特定非営利活動法人せんだい・みやぎＮＰＯセンター
住　所：〒980－0803　仙台市青葉区国分町1－8－10　大和ビル4階
ＴＥＬ：022－264－1281　　ＦＡＸ：022－264－1209
E-mail：minmin@minmin.org　　Ｈ　Ｐ：https://minmin.org/

HPはこちら